

地域

避難所運営の手引き

※この手引きは、災害などの発生において中長期的に避難所を開設・運営する際の参考としてご活用ください

■避難所名

■対象地域 自治会名

■目次

- 1 避難所開設の手順
- 2 避難所運営本部の体制
- 3 避難所のレイアウト
- 4 避難所に入所するときの注意事項
- 5 避難所での生活ルール
- 6 トイレの使い方
- 7 連絡先・FAX 番号リスト

1 避難所開設の手順

ポイント

- 避難所運営の主役は避難者です！地域みなさんで、協力して行います
- 各項目について、事前に施設管理者と話し合っておきましょう

■ 避難所施設の鍵の解錠

① 施設の安全点検 施設を避難所として開設できるかどうか、安全点検を行います

- 施設の被災状況の確認（柱、壁、天井、窓ガラスなどの損壊状況）
 - ライフライン（電気・ガス・水道・電話・ネットワーク環境など）の確認
- ※夏季・冬季は空調機器の状況についても確認しましょう

- ☑ ※開設できると判断した場合も、余震等に備え、定期的に安全点検を実施しましょう
- ☑ ※開設が難しいと判断した場合、開設しない旨を掲示し、他の避難所へ移動します

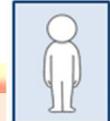
② 立入禁止箇所の決定

- ☑ ※施設管理者の意見を交え、重要書類や刃物・薬品等の危険物品、コンピューター等の機器類が保管してある部屋は立入禁止としましょう
- ☑ ※2階以上のトイレは、配管の破損の有無が確認できるまでは使用禁止です
- ☑ ※その他、被災して危険な箇所は立ち入り禁止としましょう
- ☑ ※スムーズに施設が再開できるよう、配慮することが大切です

③ 居住スペースの決定

- ☑ ※居住空間は必ず通路を確保し、1人あたり2~3㎡（スフィア基準では3.5㎡）以上を目安とします
- ☑ ※パーティションや簡易ベッド等を備蓄している避難所では、開設時にあらかじめ簡易ベッド等を設置しておくことで、区画を明確にし、入所時の混雑等を防止しましょう（資機材は平時から訓練等で使用し、使い方を確認しておくことが望ましい）
- ☑ ※自治会単位で入居し、高齢者や障害者、妊産婦等の要配慮者に配慮して誘導します
- ☑ ※感染症患者が発生した場合は、避難所内での蔓延を防止するため、専用スペースを用意し、可能な限り動線等を分けるようにしましょう

約1~1.5m



約2m

④ 共有スペースの決定

- ☑ ※多様な視点（高齢者、障害者、女性、妊産婦、外国人等）から決定することが大切です
- ☑ ※避難所生活の経過に伴い、勉強スペースや面会室、娯楽スペースなども検討します

⑤開設・受付・避難者の受入

- 避難所レイアウト図（項目 3 参照）、入所時の注意事項（項目 4 参照）の掲示
- 避難者の受付、避難者カードの配布・記入
- 避難者の誘導
- 避難者カードの回収、避難者名簿の作成
 - ※受付後も避難カードやヒアリングシート（基本指針参照）を基に定期的な問診等を行い、支援ニーズ等避難者の状況把握や健康管理を行いましょ
 - ※グラウンドや駐車場に車中泊避難者がいる場合、以下の様に受付や定期的なヒアリング等を行い、健康管理や物資の配布を遺漏なく実施しましょ

■（参考）車中泊避難者の受入

■ 車中泊対応が必要な理由

車中泊は、避難所で困難なパーソナルスペースの確保が可能という点で、障害者等のクールダウン場所、ペット避難等としても有効であり、避難を躊躇する方も避難しやすくなるなど、多くの人の避難につながるため、積極的に車中泊避難者を受け入れられるようにしましょ

(1)車中泊避難者の避難スペースの決定

- 車中泊避難者の避難車両の駐車場所については、後々避難所への物資の搬入や、避難者の搬送に支障をきたさぬよう、必要な動線やスペースを確保しましょ
 - また、屋内の避難スペースへの騒音や排ガス等の影響を最小限に留められるよう配慮も必要です
 - ※車中泊避難スペースの規模が小さい場合、本当に車中泊避難が必要な方の避難スペースを確保するため、地域内で優先的に車での避難を受け入れる方を決めておくなど、対策を講じましょ

(2)車中泊避難者の受付

- 車中泊避難者には、車種や車両ナンバー、同乗者の情報等を記載可能な避難者カードを配布し、記入してもらいましょ
 - ※避難者カードを作成する際、避難所避難者、車中泊避難者、在宅避難者(何等かの事情により避難所に避難することができず、自宅で避難生活を送る者)が共通の避難者カードで受付ができるよう、避難先に応じて記載項目を選ぶことのできる避難者カード様式の作成や、受付番号の割り振り方をあらかじめ検討しておくことも効果的です
- 受付が完了した避難者には受付済であることを示すカード等を配布し、車両のダッシュボード等、外から確認できる位置に掲示させましょ

(3)車中泊避難者への物資等供給

- 車中泊避難者へも避難所避難者と同様に、食料や水、簡易トイレ(便袋等)を配りましょ

(4)車中泊避難者の健康管理

- 車中泊避難者へも避難所避難者と同様に、ヒアリングシート（基本指針参照）等を使用した定期的な問診等を実施し、健康管理に努めましょ
 - ※車中泊の場合、エコノミークラス症候群等のリスクも伴うため、チェックリスト等を用いて、全ての車中泊避難者の健康管理が遺漏なく行われるよう、注意しましょ
 - ※真夏や真冬の車中での長時間の滞在は危険であるため、健康管理に一層留意するとともに、障害者のクールダウン等、活用目的を限定することも考えましょ

⑥避難所運営本部立ち上げ

2 避難所運営本部の体制

ポイント

- 事前に運営体制について話し合っておきましょう
- 避難所運営本部には男女ともに参加しましょう
- 運営には多様な立場の代表が参加できるようにしましょう
(介護が必要なひと、乳幼児のいるひと、中高生など)
- 災害時、本部メンバーが集まらないことも想定し、事前に代理メンバーの選出方法を決めておきましょう



避難所運営本部

本部長

副本部長

避難所担当職員

施設管理者・職員

地域の関連団体

避難所に必要な活動を実施する班で、避難者や地域団体に編成します

活動班

班長	<input type="text"/>	班
}		
班長	<input type="text"/>	班
}		
班長	<input type="text"/>	班
}		
班長	<input type="text"/>	班
}		
班長	<input type="text"/>	班
}		
班長	<input type="text"/>	班
}		

リーダー	<input type="text"/>	居住組
リーダー	<input type="text"/>	居住組
}		

避難者を避難スペース単位で編成した組のことで、地域・自治会等をもとに編成します

居住組

3 避難所のレイアウト

ポイント

- 事前に施設管理者と打合せを行い、レイアウトを検討しておくことが大切です
- 学校等の施設の再開に支障が出ないように、最大限配慮しましょう
- 災害時にすぐに掲示できるよう、事前に模造紙等で準備しておきましょう

【施設全体図】

※施設図面を貼付

居住スペース

みなさんが避難所生活を送るスペースです

共有スペース

みなさんの生活に必要な共同スペースです

立入禁止

立入禁止箇所には、絶対に入らないでください！

【居住スペースの詳細図】

ポイント

- 開設当初から簡易ベッド等の資機材を設置できるよう、全体図とは別に詳細なレイアウト図の作成も検討しましょう

※施設図面を貼付

4 避難所に入所する時の注意事項

ポイント

- 注意事項はわかりやすく簡潔にしましょう
- 受付付近に、避難所のレイアウト図と一緒に掲示しましょう
- 災害時にすぐに掲示できるよう、事前に紙で準備しておきましょう

入所する時の注意事項

5 避難所での生活ルール

ポイント

- 避難者にとって住みよい環境となるよう、生活ルールを決めましょう
- ルールは避難生活の変化に合わせて、見直しましょう
- 災害時にすぐに掲示できるよう、事前に紙で準備しておきましょう

避難所での生活ルール

6 トイレの使い方

ポイント

- 避難所の衛生環境を保つことや、災害関連死を予防するためにも、トイレの使い方をルール化することは非常に大切です
- 2階以上のトイレは、配管の破損の有無が確認できるまでは使用禁止です
- 使って良いトイレの箇所を決め、できる限り男女別（スフィア基準では男：女1：3が望ましいとされる）に確保するとともに、洋式トイレ（多目的トイレ）は高齢者、要配慮者用として優先的に確保しましょう
- 生理用品や便袋、オムツ（大人用、子ども用）等の物資を配置して、必要な方が自由に使えるようにしましょう
- 仮設トイレの整備が完了したら、そちらを優先的に使用するよう周知しましょう

トイレの使い方

7 連絡先・FAX 番号リスト



ポイント

- 災害時に、仮設トイレ等の資機材を貸し出してくれる地域の企業などの連絡先を記載しておくのも良いでしょう
- スマホの電源を確保するため、発電機、充電器などを用意しておきましょう
- 回線等の不通に備え、情報取得手段は複数用意しておきましょう
(テレビ、ラジオ、スマホ、衛星携帯等)

名 称	電話番号	FAX 番号
〇〇市役所・町役場（代表）		
〇〇市・町防災危機管理課		
〇〇市・町保健センター		
〇〇市・町社会福祉協議会		
〇〇市・町上下水道局		
電力会社		
ガス会社		
通信会社		
災害・緊急時	119	
犯罪・事故時	110	

年 月